

柏原市
歴史資料館
(大阪府柏原市)

26

みゅ〜
ザ・見遊じあむ

大阪府下では貴重な古代史跡に隣接した資料館



ミュージアムメモ

▶所在地 / 〒582-0015 柏原市高井田1598-1 ▶入館料 / 無料 ▶開館時間 / 午前9時30分〜午後4時30分 ▶休館日 / 月曜日、年末年始 ▶交通 / JR大和路線高井田駅から徒歩5分 ▶問い合わせ / 0729-76-3430

「高井田横穴群」も隣接

河内平野の東南部に位置する柏原市は古代から歴史の舞台になってきました。資料館では、市内の古墳や古代寺院跡などの遺跡から発掘された考古資料や、近世の柏原村を語る古文書類、市民から寄贈された民俗資料などを展示しています。また、柏原地域がぶどうの産地であることから、ぶどう酒づくりの用具、器材も展示されています。常設展とともに、年に4〜5回の企画展があります。この資料館に隣接して、史跡高井田横穴公園があります。広大な丘陵公園は、国の史跡に指定されている高井田横穴群を整備して公園にしたものです。遊歩道に沿って横穴を見学することが出来ます。付近には約200基の横穴があるといわれていますが、中でも高井田山古墳は薄い板石を積み上げて造られた横穴式石室をもつ古墳で、5世紀の終わりごろに造られたといわれています。

高井田古墳群には、鋭い道具で描かれた壁画（線刻壁画）が見られ、これまでに27基の横穴で壁画が発見されており、中でも最も有名なのは、ゴンドラ形の船に乗る人物の壁画です。また横穴群から出土した珍しい「古代のアイロン」が資料館に展示されています。

「ALWAYS 続・三丁目の夕日」



前作を見てから続編を見ると
わかりやすくおすすめ

昨年、日本アカデミー賞ほか数多くの映画賞を総ナメにした大ヒット作『ALWAYS 三丁目の夕日』の続編です。この映画で昭和30年代の日本の世相や社会が一躍クローズアップされて、書籍や写真集、グッズがちょっとしたブームになった感があります。今回の映画では、前作の舞台設定から4か月後、昭和34年春の夕日町三丁目に住む人々の姿を描いています。パワースタールの東京タワーをよりシンボルの東京タワーを

はじめ、東京駅、羽田空港、日本橋が画面いっぱい登場。また、当時開通した東海道新幹線「こだま」もリアルに再現され、情緒あふれる風情で物語を引き立てています。キャストは前作に引き継ぎ吉岡秀隆、堤真一、小雪、薬師丸ひろ子、堀北真希らの面々が勢ぞろいしています。昭和34年、東京オリンピックの開催が決定し、日本では高度経済成長期が始まろうとしています。前作で、黙って去ったヒロミ(小雪)を思い

冒頭のシーンで、ゴジラが登場しますが、このゴジラの出来は、どこかのひとつです。

「ALWAYS 続・三丁目の夕日」は、前作に引き継ぎ、昭和34年、東京オリンピックの開催が決定し、日本では高度経済成長期が始まろうとしています。前作で、黙って去ったヒロミ(小雪)を思い

このシネマ ガラエイガ

安威地下
トンネル跡
(茨木市)

大阪の
戦跡を歩く

第25歩



2002年8月、文化庁の近代遺跡調査等検討会(会長・島靖中央大教授)が、将来の国指定史跡もふくめて選定をすすめてきた、軍事にかんする近代遺跡(戦争遺跡)の詳細調査対象遺跡・50件を明らかにしました。そのひとつが大阪府北部、高槻・茨木の地下壕群です。茨木市では安威地域に「大阪警備府軍需部安威倉庫」跡(通称・安威地下トンネル)があります。この安威地下トンネルは人々の生活域に残された巨大な軍事施設跡です。1944年秋から掘削工事が始まり、敷地30万平方メートルに、海軍省事務所・倉庫・兵舎・熊谷組事務所・朝鮮人宿舎などが建ち並びました。イ、ロ、ハの三地区からなり、トンネルは奥行き約100メートルもあったといわれています。イ地区は熊谷組が海軍から請け負い、ロ地区は海軍が直接工事を行い、多くの朝鮮人を使役しました。

撰津
河内
和泉
三國誌
26
井原西鶴と生国魂神社
(大阪市天王寺区)



天王寺区生国魂神社にある井原西鶴の像

江戸時代の元禄年間に大阪で傑出した文化人といえば、近松門左衛門と並んで井原西鶴がいます。江戸時代の浮世草子・人形浄瑠璃作者で俳人として知られた井原西鶴は、本名が平山藤五といい、1642年(寛永19)大阪で生まれました。15歳のころから文芸の道を志し、諸国を渡り歩いたあと、西山宗因門下で俳諧を学び、1680年(延宝8年)には生玉神社南坊で、1昼夜ぶつ通しで4千句を詠み、さらに1684年(貞享元年)には住吉大社で一昼夜に2万3500句を詠んだといわれています。俳諧から、浮世草子(小説)へと転向し、1682年(天和2年)に発表した『好色一代男』がベストセラーになり、草子作家としての地位も獲得しました。つづいて『日本永代蔵』、『世間胸算用』など鋭い観察と奔放な筆致で新天地を開き

ました。52歳を迎えた1693年(元禄6年)大坂鐘屋町の草庵で没しました。その辞世の句は「人間50年の究り、それさへ我にあまりたるに、ましてや 浮世の月 見過ごしにけり末二年」と残されています。

いま、天王寺区にある生国魂神社の境内に銅像が建っています。また、大阪市中央区谷町3丁目の交差点を少し南へ下った東側、谷町筋に面したところに「井原西鶴終焉之地」と辞世の歌を刻んだ石碑があります。墓は向かい側にある誓願寺。毎年9月には「西鶴忌」が行われています。ちなみに、西鶴の名前は、ときの5代将軍・徳川綱吉が娘の鶴姫を溺愛するあまりに出した「鶴字法度」(庶民には鶴の字の使用を禁止した)に因んでいます。西鶴の反骨精神がよく表われています。

いまも心に響く
名詩・名歌・名語録

旧暦の11月19日は、小林一茶の命日で「一茶忌」。小林一茶江戸時代を代表する俳諧師の一人で本名・小林弥太郎。1763年6月15日信濃の貧農の家に生まれた。25歳のころから俳諧を学び全国を歴遊しました。句集「おらが春」がよく知られています。有名な句は、「我と来て遊べや親のない雀」「めでたさも中ぐらいならおらが春」「雀の子そこのけそこのけお馬がとる」「名月を取ってくれろとなく子かな」など。生涯に作った句は2万句におよぶといわれています。1828年1月5日没、65歳でした。

善人なおもて
往生をとぐ
いわんや悪人をや
親鸞「歎異抄」

『歎異抄』は親鸞(しんらん)のあらわした書物。標題の言葉は「善人が極楽往生できるのなら、悪人ができないはずがない」の意味で、(人は自力で善(往生の手段となる行為)を成すことは不可能である。人はすべて悪(往生の手段とならない行為)しか成せない。だから、悪人と自覚している人の方が、自分は善人だと思っている人より、本願により救われる道を自覚している事になる)という逆説的な表現。親鸞は(1173年5月21日~1263年1月16日)鎌倉時代初期の日本の僧。浄土真宗の開祖とされています。